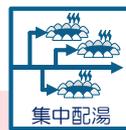




湯村温泉



概要

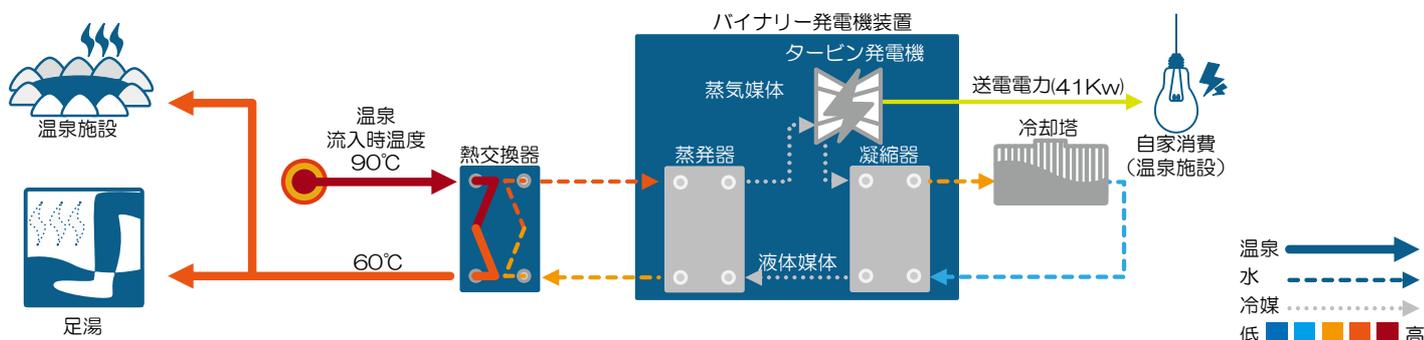
バイナリー発電により発電した電気や、温泉と熱交換後の温水を、施設内温泉施設「薬師湯」で消費している。また、バイナリー発電後の温泉水は、温泉や足湯へ利用している。なお、災害時等にバイナリー発電機を稼働させ、電力を当該施設に供給することで防災拠点とすることも可能である。湯村温泉では、昭和46年から集中配湯を行うなど、古くから積極的に温泉熱を活用している。

所在地	兵庫県美方郡新温泉町
泉質	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩泉
温泉温度	98°C
利用温度	90°C
利用温泉	既存温泉
供用開始	H25.4
総事業費	8,000万円（一部補助金あり）



※エネルギーコスト削減効果、CO₂排出量削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値
※導入前後のランニングコストが不明のため投資回収年数は算出していない

主な温泉熱利用方法のシステム図



小浜温泉バイナリー発電所



概要

使われていなかった温泉を利用してバイナリー発電を行い、発電した電力はFIT（固定価格買取）制度を活用して、売電を行っている。

所在地	長崎県雲仙市小浜町
泉質	塩化物泉
温泉温度	100°C
利用温度	100°C
利用温泉	既存温泉
供用開始	H25
総事業費	-（補助金・自己資金）



※エネルギーコスト削減効果、CO₂排出量削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値
※温泉熱利用に係る事業費が不明のため投資回収年数は算出していない

主な温泉熱利用方法のシステム図

